

企業の情報	
企業・団体名	株式会社深川振興公社 製造所：アグリ工房まあぶ
所在地	北海道深川市一已町字一已7354番地 製造所所在地：北海道深川市音江町音江600番地
ホームページ	https://agri-studio-maabu.com
理念	深川市の経済社会開発を推進し、市民生活の福祉向上に寄与することを目的とする
事業内容	市所有施設管理委託、自動車教習所経営

対象商品の情報			
対象商品	北の黒米	商品分類	黒米
価格	515円（税込）	内容量	200g
保存方法	常温	賞味期限	なし
現行品の パッケージ寸法	200 mm × 110 mm × 50mm		
商品概要	<p>北海道の気候に適応した黒米「きたのむらさき」。深川市内にある、拓殖大学北海道短期大学で研究・開発され、北海道内で栽培されている黒米品種です。現在は深川市内のお菓子屋さんを中心に、カステラ、まんじゅう、ハンバーガーのバンズに使用するなどの商品開発が行われているほか、学校給食でも使用されています。ポリフェノールの一種であるアントシアニンやビタミンが含まれており、味のクセもなく、食感が楽しめます。白米と一緒に炊くとうっすら桜色に色づき、プチプチした食感でキレイな炊き上がり。健康的かつ見た目が美しくなることから、黒米ロールキャベツや黒米パエリアなどにアレンジするのもおすすめ。認知度はまだ十分ではなく、深川市の特産品として今後、ピーアールを強化していきたい商品です。</p>		
現在の販売場所	札幌駅どさんこプラザ、道の駅ライスランドふかがわ、きたキッチン、くるるの杜、アグリ工房まあぶ、深川物産館（深川駅構内）		
ターゲット	健康志向の女性、家庭での利用		

デザインの要望	
デザインの要望	<ul style="list-style-type: none"> ●職員が手作業で黒米を袋詰めできるようにしたい。 ●内容量は200gで、劣化しにくいよう開封後も密閉できるものを希望。現在は真空対応を行っているがマストではなく、形状も踏襲する必要はない。 ●ロゴは入れなくてもよい。 ●まずは使いやすさより、「なんだこれ!？」と興味を引くような面白さをパッケージデザインに重視してもらいたい。 ●“黒米（くろまい）”自体の読みかたや認知度が高まるようなアイデアをデザインに落とし込んでもらえると嬉しい。
担当者からひとこと	<p>深川市では現在、2軒の農家さんで黒米を生産しており、ほかにも興味をもっていただいている農家さんがいます。新パッケージで黒米の認知度と売れ行きを高めることで、深川市を黒米で盛り上げていきたいと考えています。現在は40～60代、道の駅での購入が一番多いのですが、健康志向の女性やご家庭などで、一人でも多くの方に黒米のおいしさや価値を感じてほしいです。また、若い世代に興味を持ってもらい、黒米生産の継承にも繋がってほしいです。その足掛かりになるようなデザインを期待しています。</p>

商品名の変更の可否	商品ロゴ変更の可否	名称等の記載について	ロゴマーク
不可	可能	—	—

商品の購入方法

お電話にてご連絡ください。 TEL0164-26-3333（アグリ工房まあぶ）